

平成30年

# 火災・救急の概況

火 災

26件

大洲市 20件  
内子町 6件

救 急

3,344件

大洲市 2,466件  
内子町 875件  
管轄外 3件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



# 火災の概況

## 1 火災概要

平成30年中に組合管内で発生した火災は26件で、建物焼損棟数40棟、建物焼損床面積1,723平方メートル、死者数1人、負傷者数4人、30日死者数（負傷後48時間以上30日以内の死者数）0人、り災世帯数15世帯、り災人員35人、損害額38,349千円となっている。

前年と比較すると、建物焼損棟数、建物焼損床面積、り災世帯数及びり災人員が増加しており、出火件数、死者数及び損害額については減少している。（1表）

## 2 出火件数

出火件数は26件で、前年と比べ1件減少しており、1ヶ月あたり約2件の割合で火災が発生している。

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は4.32件であり、全国の出火率3.09件（平成29年）と比較すると1.23件高くなっている。

### (1) 市町別出火件数

市町別出火件数は、大洲市20件（内訳：大洲14件、長浜5件、肱川1件、河辺0件）、内子町6件（内訳：内子4件、五十崎1件、小田1件）となっている。（2表）

### (2) 火災種別

火災種別にみると、建物火災が17件（全火災の65.4%）で最も多く、次いでその他の火災が5件（19.2%）、車両火災が4件（15.4%）の順になっている。（2表、4表）

なお、建物火災17件を用途別にみると、住宅火災（併用住宅を含む）が9件で建物火災の52.9%を占めている。（10表）

### (3) 四季別出火件数

四季別出火件数は、秋季における火災が11件と多く、春季、夏季及び冬季がそれぞれ5件となっている。（5表）

## 3 損害額

損害額は38,349千円で前年より14,894千円減少している。内訳は、建物火災における損害額が最も多く37,239千円（97.1%）であり、次いで車両の損害額が693千円（1.8%）、その他火災の損害額が417千円（1.1%）となっている。（1表）

また、1件あたりの損害額は、1,475千円であり、前年の1,972千円と比較すると497千円減少している。（7表）

#### 4 出火原因

出火原因別にみると、総出火件数26件のうち、「電気配線器具」による出火が6件で最も多く、次いで「たき火」5件、「風呂かまど」3件の順となっている。（8表）

#### 5 初期消火対応

火災初期における消火活動と、その効果の有無については、総出火件数26件のうち初期消火を試みたものは20件あり、このうち初期消火によって大事に至らなかった火災は10件である。

また、初期消火に効果のあったものは、「消火器」が6件「水道、浴槽等の水をかけた」が2件、「水バケツ」「寝具、衣類等をかけた」がそれぞれ1件となっている。（9表）

#### 6 死傷者

死傷者は、火災による死者1人（応急消火義務者1人）、負傷者4人（消防団員1人、応急消火義務者3人）、30日死者0人で、前年に比べ死者が3人減少、30日死者が1人減少となっている。（11表）

#### 7 まとめ

以上、平成30年中の火災概況であるが、前年と比べて出火件数が1件減少しているが、うち建物火災は4件増加、死者については3人減少している。り災人員は前年に比べ22人増加しており、出火率は全国出火率を1.23件上回っている。

出火原因は「電気配線器具」によるものが6件と最も多く、その要因としては、コンセント接続部にほこり等が堆積したことによるトラッキング現象によるものが多い。

このことから、防火対策の取り組みとして、住民に対して、長期間接続したままのコンセントの清掃について注意喚起を行い、より一層火災予防に努める必要がある。

さらに、住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置、維持管理をより強く呼びかけるとともに、各地域における自主防災組織等の協力を得て、住民を主体とした防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図る必要がある。

# 1表 火災の概況

区 分	単位	平成30年	平成29年	増 減
出 火 件 数	件	26	27	▲ 1
建 物	〃	17	13	4
林 野	〃	0	2	▲ 2
車 両	〃	4	5	▲ 1
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	5	7	▲ 2
焼 損 棟 数	棟	40	13	27
全 焼	〃	23	2	21
半 焼	〃	2	2	—
部 分 焼	〃	9	7	2
ぼ や	〃	6	2	4
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	1,723	478	1,245
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	35	140	▲ 105
林野焼損面積	a	0	7	▲ 7
死 者	人	1	4	▲ 3
負 傷 者	〃	4	4	—
30日死者	〃	0	1	▲ 1
り災世帯数	世帯	15	7	8
全 損	〃	7	2	5
半 損	〃	0	1	▲ 1
小 損	〃	8	4	4
り災人員	人	35	13	22
損 害 額	千円	38,349	53,243	▲ 14,894
建 物	〃	37,239	9,915	27,324
林 野	〃	0	3	▲ 3
車 両	〃	693	965	▲ 272
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	417	42,360	▲ 41,943
爆発損害額	千円	0	0	—

※ ▲～減

※ 損害額は、火災種別ごとの損害額を計上している。

2表 市町別火災状況

区分 市町別		火災種別						焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額（千円）	
		合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	30日死者			総額	うち 建物損害
大洲市	大洲	14	9		3		2	573	16		1	4		15	9	23,346	22,953
	長浜	5	3				2	548						12	3	6,789	6,372
	肱川	1					1		2								
	河辺																
	小計	20	12		3		5	1,121	18		1	4		27	12	30,135	29,325
内子町	内子	4	3		1			341	17					10	3	4,226	3,926
	五十崎	1	1											1		2	2
	小田	1	1					262						2		3,986	3,986
	小計	6	5		1			603	17					13	3	8,214	7,914
合計		26	17		4		5	1,724	35		1	4		40	15	38,349	37,239

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

### 3表 市町別月別出火状況

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
平成 30 年	大洲市	大洲	2	1		1			2	1	1	3	2	1	14	
		長浜				1	1			2			1		5	
		肱川												1		1
		河辺														
	内子町	内子		1	2								1			4
		五十崎											1			1
		小田										1				1
合計			2	2	2	2	1		2	3	2	5	4	1	26	

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
平成 29 年	大洲市	大洲	1		2		1	2	2	2	2	1	1		14	
		長浜				1									1	
		肱川														
		河辺			1											1
	内子町	内子			1	1		1			1	1		1	6	
		五十崎	1		1	1									3	
		小田						1		1					2	
合計			2		5	3	1	4	2	3	3	2	1	1	27	

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	平成30年	平成29年
建 物 火 災	65.4	48.2
林 野 火 災	0.0	7.4
車 両 火 災	15.4	18.5
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	19.2	25.9
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	平成30年				平成29年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	5	19.2	10,406	27.1	9	33.3	49,133	92.3
夏 季 6月～8月	5	19.2	2,308	6.0	9	33.3	1,038	2.0
秋 季 9月～11月	11	42.4	23,290	60.8	6	22.3	174	0.3
冬 季 12月～2月	5	19.2	2,345	6.1	3	11.1	2,898	5.4
合 計	26	100.0	38,349	100.0	27	100.0	53,243	100.0

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減数	
		平成30年	平成29年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	4.32	4.41	▲ 0.09	
	出 火 件 数	26	27	▲ 1	
	うち建物火災	17	13	4	
	人 口	60,121	61,195	▲ 1,074	
	世 帯 数	27,039	27,295	▲ 256	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	4.10	4.04	0.06
		出 火 件 数	14	14	0
		うち建物火災	9	6	3
		人 口	34,134	34,647	▲ 513
	長 浜	世 帯 数	15,432	15,576	▲ 144
		出 火 率	7.66	1.49	6.17
		出 火 件 数	5	1	4
		うち建物火災	3	1	2
	肱 川	人 口	6,525	6,718	▲ 193
		世 帯 数	3,138	3,180	▲ 42
		出 火 率	4.84	0	4.84
		出 火 件 数	1	0	1
	河 辺	うち建物火災	0	0	0
		人 口	2,065	2,204	▲ 139
		世 帯 数	906	969	▲ 63
		出 火 率	0	14.35	▲ 14.35
内 子 町	出 火 件 数	0	1	▲ 1	
	うち建物火災	0	1	▲ 1	
	人 口	676	697	▲ 21	
	世 帯 数	377	383	▲ 6	
内 子 町	内 子	出 火 率	4.31	6.41	▲ 2.1
		出 火 件 数	4	6	▲ 2
		うち建物火災	3	2	1
		人 口	9,284	9,362	▲ 78
	五 十 崎	世 帯 数	3,974	3,959	15
		出 火 率	1.93	5.74	▲ 3.81
		出 火 件 数	1	3	▲ 2
		うち建物火災	1	2	▲ 1
	小 田	人 口	5,182	5,222	▲ 40
		世 帯 数	2,099	2,087	12
		出 火 率	4.43	8.53	▲ 4.1
		出 火 件 数	1	2	▲ 1
	うち建物火災	1	1	0	
	人 口	2,255	2,345	▲ 90	
	世 帯 数	1,113	1,142	▲ 29	

※ ▲は減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。  
(平成29年全国出火率 3.09)

※ 人口は平成30年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。



7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年別	出火件数	損害額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成21年	47	47,887	1,019
平成22年	25	27,931	1,117
平成23年	26	24,976	961
平成24年	31	43,479	1,403
平成25年	31	23,913	771
平成26年	27	33,803	1,252
平成27年	26	21,300	819
平成28年	24	30,829	1,285
平成29年	27	53,243	1,972
平成30年	26	38,349	1,475

8表 出火原因別件数及び損害額

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
電気配線器具	6	23.1	21,866	57.0
たき火	5	19.3	1,680	4.4
風呂かまど	3	11.5	10,081	26.3
こんろ	2	7.7	136	0.4
ストーブ	2	7.7	442	1.1
不明	1	3.8	398	1.0
その他	7	26.9	3,746	9.8
合計	26	100.0	38,349	100.0

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

### 9表 初期消火の対応状況

効 果	消火器具別		水道、浴槽等の水をかけた	消火器	水バケツ	消火栓	寝具、衣類等をかいた	その他	合 計
	効 果 有	効 果 無							
効 果 有			2	6	1	0	1	0	10
効 果 無			2	4	2	0	1	1	10

### 10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年 別	住宅 (併用含む)	作業場 工 場	倉庫 納屋	店舗	事務所	共同住宅	その他	合計
	平成30年	9	3	4	1	0	0	0
平成29年	7	3	2	1	0	0	0	13

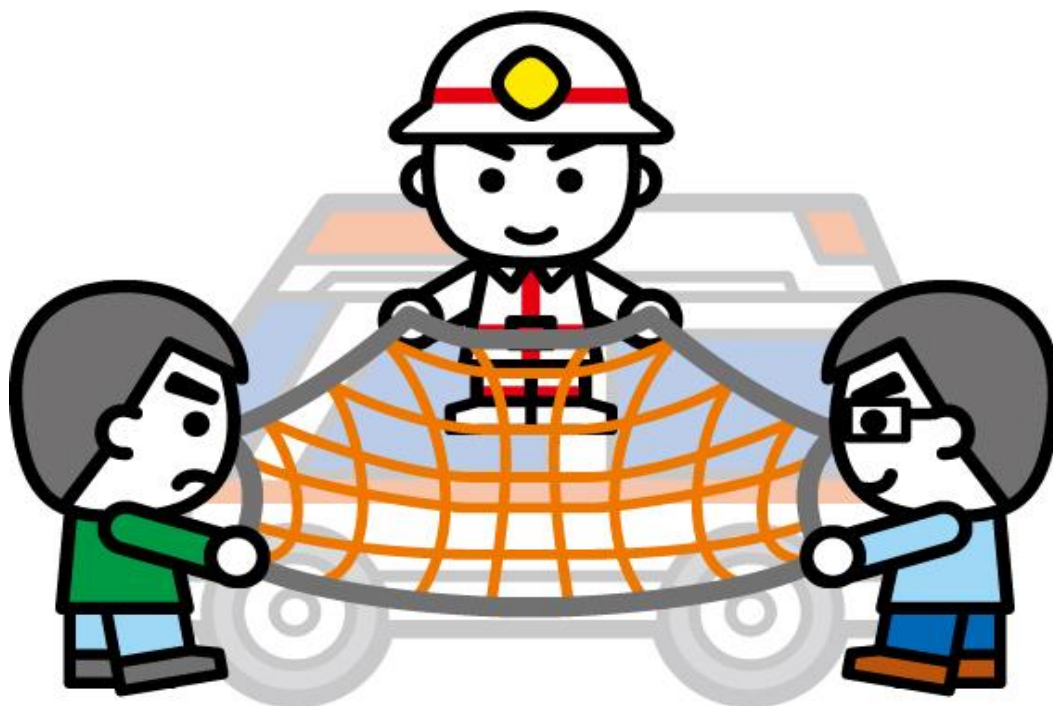
### 11表 死傷者の区分

区 分	死 者	負 傷 者	30日死者
消 防 吏 員	0	0	0
消 防 団 員	0	1	0
応急消火義務者	1	3	0
消 防 協 力 者	0	0	0
そ の 他 の 者	0	0	0
合 計	1	4	0

※ 30日死者とは、火災による負傷後48時間以上30日以内の死者。

次のページから救急の概況

## 救急車は地域を守る セーフティネット



全国救急受診アプリ「Q助」

消防庁では、住民による緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受信手段の情報を提供するため全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）の提供を開始しました。

スマートフォン版（Apple、Google）、Web版があります。

[https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9\\_6/kyukyu\\_app.html](https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html)

※スマートフォン版のダウンロード容量は2MBで、使用するときの通信料はかかりません。

# 救急の概況

## 1 救急概要

平成30年中における組合管内の救急概要は、出動件数3,344件（前年比9件増）、搬送人員3,157人（前年比22人減）であり、前年と比較して件数は増加しているが、搬送人員でみると減少している。（1表）

また、組合に配置している救急車6台全てが高規格救急車で、全ての救急事案に救急救命士が搭乗し出場している。（2表）

## 2 事故種別救急状況

事故種別救急件数は、最も多いのが急病で2,041件（61.0%）、次いで一般負傷524件（15.7%）で、以下、その他（主に転院搬送）、交通事故、労働災害、運動競技、自損行為の順となっている。前年と比較すると、増加しているのは、水難7件、労働災害8件、一般負傷19件、急病74件であり、他の事故種別については、減少及び同件数となっている。（3表）

## 3 市町別救急状況

市町別救急件数は、大洲市が全体の73.7%（2,466件）で、内子町が26.2%（875件）、管轄外が0.1%（3件）となっている。

大洲市の内訳としては大洲1,935件（78.5%）、長浜359件（14.5%）、肱川142件（5.8%）、河辺30件（1.2%）で、内子町の内訳としては内子508件（58.1%）、五十崎241件（27.5%）、小田126件（14.4%）となっている。（4表）

## 4 時間帯別救急状況

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が8時から10時の417件、最も少ない時間帯は、2時から4時の106件となっている。（5表）

## 5 月別曜日別救急状況

月別の救急件数は、7月の389件が最も多く（前年は7月の330件）、最も少ない月は、6月の230件（前年は2月の245件）である。

また、曜日別の救急件数は、日曜日の499件が最も多く（前年は月曜日の523件）、最も少ないのは、水曜日の441件（前年は、日曜日の423件）である。（6表）

## 6 応急処置状況

救急隊員が行った応急処置の状況は、血中酸素飽和度測定、血圧測定、保温、その他の応急処置（検温等）、聴診器による聴取、心電図、酸素吸入の頻度が高く、除細動は8件実施している。

救急救命士が行う救急救命処置については、ラリングアルマスク等を用いた気道確保を30件、気管挿管を7件、薬剤投与を7件実施している。また、平成28年6月1日から処置範囲が拡大された処置のうち、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は6件、血糖測定は24件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は4件となっている。（7表）

## 7 医療機関別搬送人員状況

収容医療機関の状況は、搬送人員の83.1%（2,624人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、98.6%（2,587人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は、533人であり、その53.3%に当る284人はその他（主に転院搬送）によるものである。（8表）

## 8 市町別人口割救急状況

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生割合を比較すると、最も発生頻度が高いのは肱川の69件、次いで大洲57件、小田56件、内子55件、長浜55件、五十崎47件となっており、最も発生頻度が低いのは河辺で44件となっている。（9表）

## 9 高齢者事故種別搬送人員状況

高齢者（「65歳以上の者」をいう。以下同じ）に関する救急状況は、搬送人員2,195人で昨年に比べ52人増加しており、全搬送人員の69.5%を占めている。（1表）

また、事故種別でみると、急病が1,390人（63.3%）と最も多く、次いで一般負傷374人（17.0%）、その他（主に転院搬送）332人（15.1%）、交通事故81人（3.7%）の順となっている。（10表）

## 10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

高齢者急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系が197人（14.2%）と最も多く、次いで心疾患182人（13.1%）、脳疾患130人（9.4%）、消化系127人（9.1%）の順となっている。（11表）

# 1表 年別救急業務状況

区 分  年 別	出 場 件 数						搬 送 人 員					
	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所
平 成 3 0 年	3,344	1,832	363	242	752	155	3,157	1,737	339	224	710	147
							2,195	1,135	271	160	519	110
平 成 2 9 年	3,335	1,886	369	190	719	171	3,179	1,773	359	188	699	160
							2,143	1,137	267	137	476	126
昨 年 比 増 減	9	▲ 54	▲ 6	52	33	▲ 16	▲ 22	▲ 36	▲ 20	36	11	▲ 13
							52	▲ 2	4	23	43	▲ 16

※ ▲は減

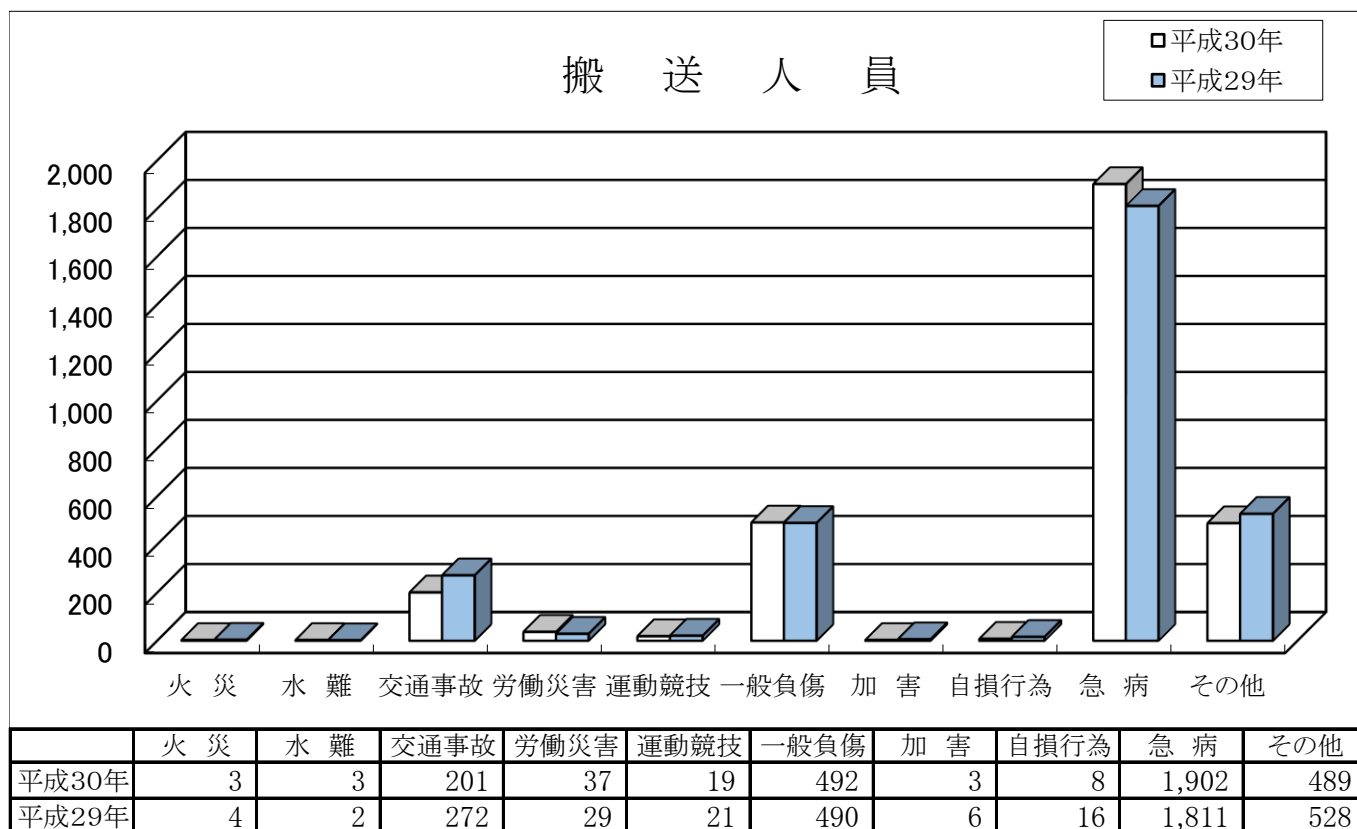
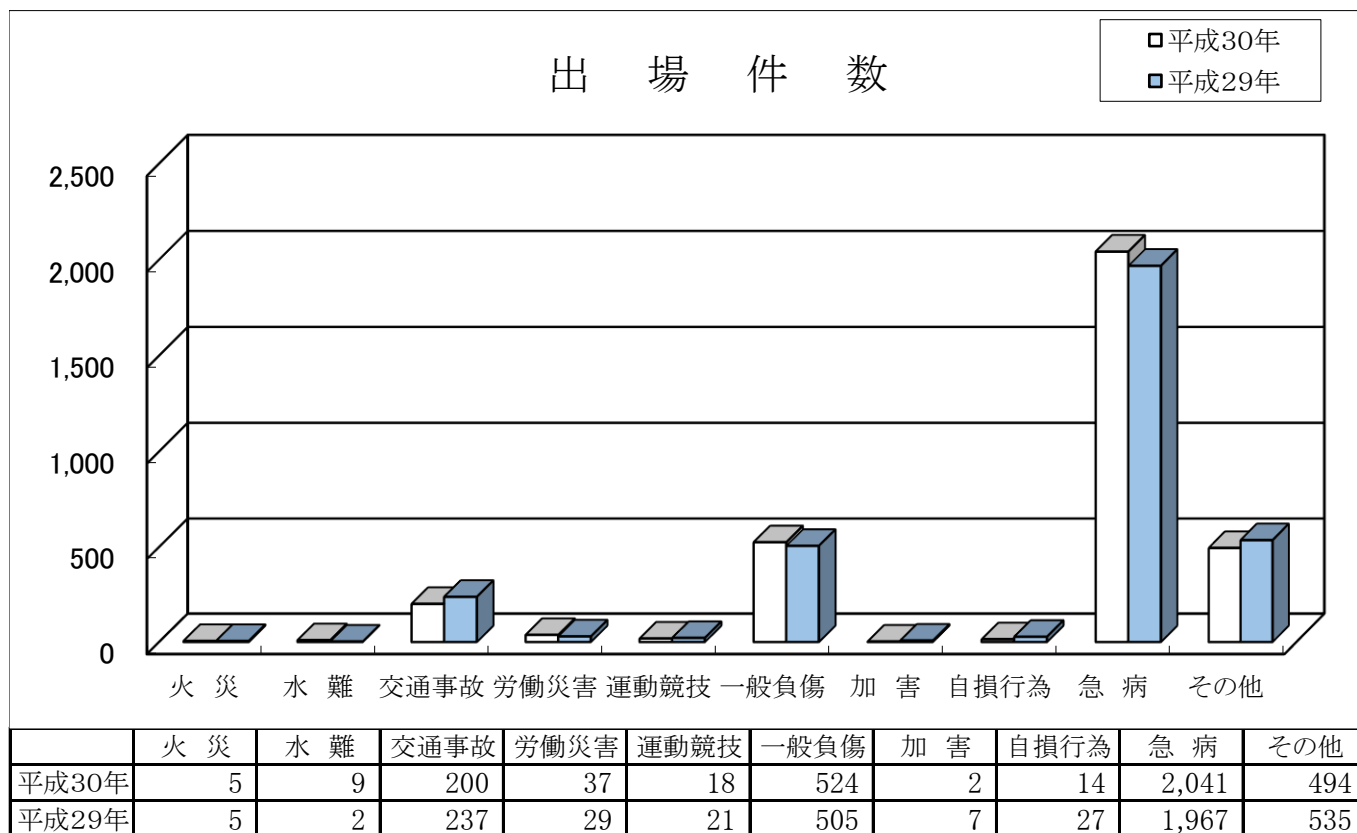
下段の数値は65歳以上

## 2表 事故種別の救急概要

区分  事故種別	組 合						平 成 30 年											
	出 場 件 数			搬 送 人 員			大洲高規格隊1		大洲高規格隊2		長浜高規格隊		川上高規格隊		内子高規格隊		小田高規格隊	
	平成 30 年	平成 29 年	増 減	平成 30 年	平成 29 年	増 減	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員
火 災	5	5	0	3	4	▲ 1	0	0	3	2	1	0	0	0	1	1	0	0
自 然 災 害	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	9	2	7	3	2	1	5	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0
交 通 事 故	200	237	▲ 37	201	272	▲ 71	104	101	23	24	12	14	7	4	50	53	4	5
労 働 災 害	37	29	8	37	29	8	19	19	4	4	6	6	2	2	4	4	2	2
運 動 競 技	18	21	▲ 3	19	21	▲ 2	6	7	2	2	0	0	1	1	8	8	1	1
一 般 負 傷	524	505	19	492	490	2	175	166	63	60	64	60	40	34	152	142	30	30
加 害	2	7	▲ 5	3	6	▲ 3	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
自 損 行 為	14	27	▲ 13	8	16	▲ 8	7	4	1	1	1	0	1	1	4	2	0	0
急 病	2,041	1,967	74	1,902	1,811	91	819	756	221	212	264	244	152	144	472	442	113	104
そ の 他	493	535	▲ 42	488	528	▲ 40	179	176	199	199	12	12	38	38	60	58	5	5
合 計	3,344	3,335	9	3,157	3,179	▲ 22	1,316	1,233	517	505	362	338	242	224	752	710	155	147

※ ▲は減

### 3表 事故種別出場件数・搬送人員

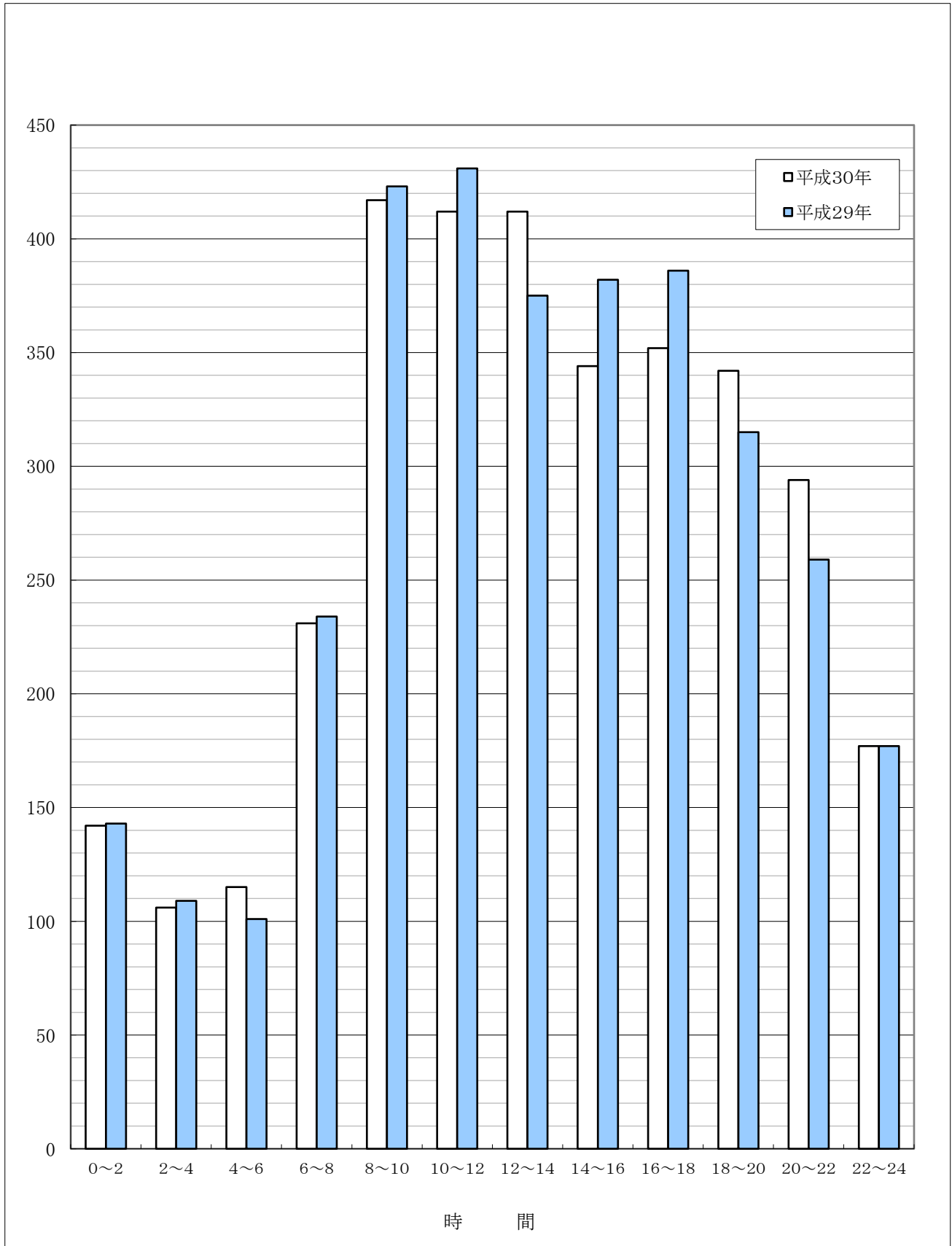




4表 市町別救急業務状況

市町 事故種別	組合	大洲市				内子町			管轄外
		大洲	長浜	肱川	河辺	内子	五十崎	小田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急病	2,041	1,075	266	105	24	323	152	95	1
	1,902	998	248	99	24	295	145	92	1
一般負傷	524	261	57	28	4	90	57	27	0
	492	243	54	24	4	87	53	27	0
交通事故	200	125	18	4	0	34	16	1	2
	201	122	21	4	0	36	14	1	3
自損行為	14	10	0	1	0	2	1	0	0
	8	6	0	1	0	1	0	0	0
労働災害	37	25	6	1	0	3	0	2	0
	37	25	6	1	0	3	0	2	0
運動競技	18	7	0	1	0	8	1	1	0
	19	7	0	1	0	9	1	1	0
加害	2	1	1	0	0	0	0	0	0
	3	2	1	0	0	0	0	0	0
火災	5	5	0	0	0	0	0	0	0
	3	3	0	0	0	0	0	0	0
水難	9	6	1	2	0	0	0	0	0
	3	2	1	0	0	0	0	0	0
その他	494	420	10	0	2	48	14	0	0
	489	416	10	0	2	47	14	0	0
合計	3,344	1,935	359	142	30	508	241	126	3
	3,157	1,824	341	130	30	478	227	123	4

5表 時間帯別救急出場件数



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
平成30年	142	106	115	231	417	412	412	344	352	342	294	177
平成29年	143	109	101	234	423	431	375	382	386	315	259	177

6表 月別曜日別救急出場状況

曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	合計
1 月	44	57	50	51	32	45	44	323
2 月	36	34	39	33	37	38	37	254
3 月	42	28	38	28	41	37	30	244
4 月	43	47	35	32	52	25	39	273
5 月	22	41	43	38	43	34	37	258
6 月	28	32	29	22	37	37	45	230
7 月	56	56	56	56	58	47	60	389
8 月	37	45	45	47	46	40	40	300
9 月	55	40	30	26	27	35	41	254
10 月	47	45	57	37	30	36	37	289
11 月	39	30	33	42	56	46	37	283
12 月	50	41	42	29	20	32	33	247
合計	499	496	497	441	479	452	480	3,344

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員 処置項目	1,900	199	492	560	3,151
止血	19	19	70	16	124
固定	39	84	182	26	331
人工呼吸	38	0	2	6	46
心マッサージ	26	0	1	2	29
うち自動	20	0	1	2	23
心肺蘇生	56	0	5	4	65
うち自動	11	0	1	0	12
酸素吸入	441	13	33	172	659
気道確保	108	0	9	11	128
うち経鼻	5	0	0	0	5
うち異物除去	8	0	2	0	10
ラリングアルマスク等	27	0	1	2	30
気管挿管	4	0	2	1	7
保温	1,296	92	297	408	2,093
被覆	10	26	92	18	146
在宅療法継続	11	0	1	1	13
点滴処置	1	0	0	0	1
外傷処置	2	0	0	0	2
その他	9	0	1	1	11
除細動	8	0	0	0	8
静脈路確保	心肺機能停止前	5	1	0	6
	心肺機能停止後	26	0	1	28
血糖測定	24	0	0	0	24
ブドウ糖溶液投与	4	0	0	0	4
薬剤投与	6	0	1	0	7
その他の応急処置	1,462	36	199	223	1,920
血圧測定	1,802	197	477	544	3,020
聴診器による聴取	562	58	87	73	780
血中酸素飽和度測定	1,822	198	482	549	3,051
心電図	600	13	31	124	768
合計	8,365	737	1,970	2,178	13,250

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
		急	病										
			うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急告示医療機関	国立	6	6					2	2	27	27	35	35
	公立	561	114	58	9	138	26	154	106	911	255		
	公的	13	13			2	2	56	56	71	71		
	私的病院	1,244	10	133	5	341	2	232	2	1,950	19		
	私的診療所												
計		1,824	143	191	14	483	32	469	191	2,967	380		
その他の医療機関	国立	3	3	1	1					11	11	15	15
	公立	23	23	9	9	7	7	80	80	119	119		
	公的	13	13							13	13		
	私的病院	3				1	1	2	2	6	3		
	私的診療所	36	3			1				37	3		
計		78	42	10	10	9	8	93	93	190	153		
計	国立	9	9	1	1	2	2	38	38	50	50		
	公立	584	137	67	18	145	33	234	186	1,030	374		
	公的	26	26			2	2	56	56	84	84		
	私的病院	1,247	10	133	5	342	3	234	4	1,956	22		
	私的診療所	36	3			1				37	3		
計		1,902	185	201	24	492	40	562	284	3,157	533		
その他の場所	接骨院												
	その他												
	計												
合計		1,902	185	201	24	492	40	562	284	3,157	533		

### 9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市 町		区 分	人 口 (人)	出 場 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)	人口1,000人当りの 発生件数(件)
大 洲 市	大	洲	34,134	1,935	1,824	57
	長	浜	6,525	359	341	55
	肱	川	2,065	142	130	69
	河	辺	676	30	30	44
内 子 町	内	子	9,284	508	478	55
	五	十 崎	5,182	241	227	47
	小	田	2,255	126	123	56
組 合 管 内			60,121	3,341	3,153	56
管 轄 外				3	4	
合 計				3,344	3,157	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市 町 区 分		事 故 種 別											合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
大 洲 市	大 洲	2	1	1	48	5	0	175	0	3	688	269	1,192
	長 浜	0	0	1	11	2	0	44	0	0	208	8	274
	肱 川	0	0	0	0	0	0	16	0	0	72	0	88
	河 辺	0	0	0	0	0	0	3	0	0	21	2	26
内 子 町	内 子	0	0	0	13	1	1	73	0	1	229	42	360
	五 十 崎	0	0	0	8	0	0	44	0	0	94	11	157
	小 田	0	0	0	1	0	0	19	0	0	78	0	98
その他(管轄外)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		2	1	2	81	8	1	374	0	4	1,390	332	2,195

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市 町		疾病分類									合 計
		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	
大 洲 市	大 洲	80	91	46	100	7	46	23	10	285	688
	長 浜	12	35	28	24	3	11	6	6	83	208
	肱 川	6	5	8	3	0	1	1	0	48	72
	河 辺	2	0	2	3	0	1	0	0	13	21
内 子 町	内 子	17	33	28	40	2	11	11	9	78	229
	五 十 崎	5	11	9	17	2	6	2	0	42	94
	小 田	8	7	6	10	3	2	1	4	37	78
合 計		130	182	127	197	17	78	44	29	586	1,390

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。